

【課】 令和7年度の取り組みについて

〔取組み1〕 外国籍世帯通訳同行支援

- ① こども家庭センターが実施する支援として、要支援家庭の外国籍世帯を対象に、通訳アプリでは対応が難しく、より丁寧な対応が必要と判断した世帯へ通訳同行者を派遣する。
- ② 健康部37回、子ども家庭部36回の計73回の派遣要請及び報償費支払い業務等を子ども家庭支援センターで行う。



〔取組み2〕 産後ドゥーラ利用助成事業拡充

- ① 産後ドゥーラ派遣対象を、現在の要支援家庭・ひとり親・多胎児の家庭から全世帯へ拡充する。
- ② 利用者の状況・状態を見極め、産後ドゥーラ利用の適正化を図る。



〔取組み3〕 ショートステイ事業の拡充

- ① 育児支援ヘルパー事業の予算を組み換え、慢性的に予算が不足しているショートステイ事業の予算を2,506千円増加し35,268千円となった。
- ② 特にトワイライトステイの利用が増加しており、その動向を注視し、令和8年度へ向け拡充提案も含め検討する。
- ③ 要支援家庭については、支援計画を明確にする。

